

第8期九州メンタープロジェクト

●九州メンタープロジェクトとは

福岡経済同友会と福岡ベンチャークラブが連携し、ベンチャー企業経営者が先輩経営者に対し、経営に関する悩みを相談するメンタリング事業です。

●九州メンタープロジェクトの目的

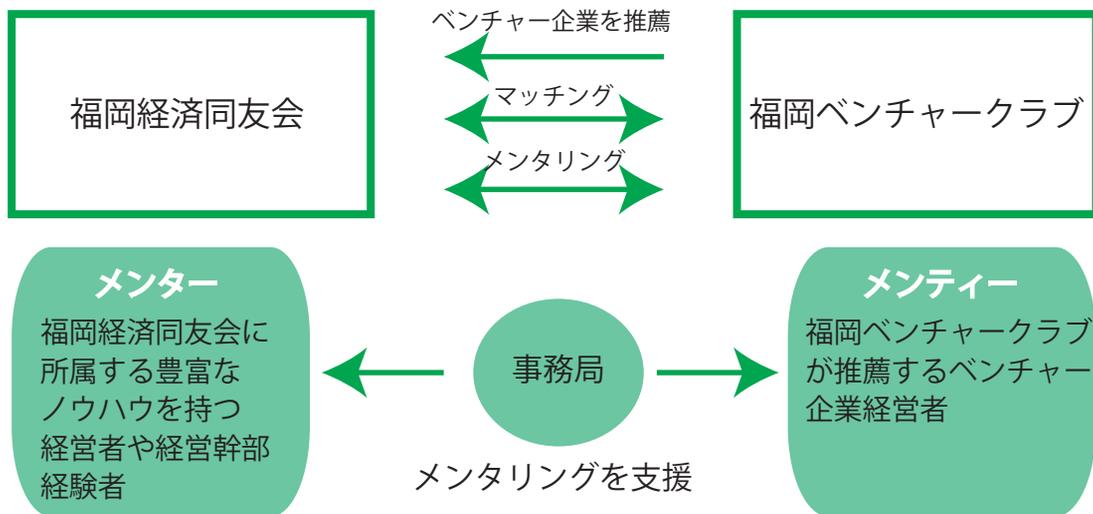
ベンチャー企業に対し先輩経営者がメンタリングを行うことで、ベンチャー企業の成長発展を促し、地域経済の活性化を図ることが目的です。

優れた技術を持ちながら大きく成長できない等、高い志と成長意欲を有するベンチャー企業の経営者を応援します。

●メンタリングの内容

トップマネジメントのあり方等、大局的な観点からの助言や精神的な支援

●事業スキーム



メンタリングのほか、メンティーには、福岡経済同友会会員へのプレゼンテーションや福岡経済同友会会報への事業紹介などのビジネス拡大のチャンスがあります。

●申込方法・スケジュール

- ・10月2日（金）までに、事業計画書を添付の上、ホームページ、メール又はFAXにより事務局までお申し込みください。
- ・福岡ベンチャークラブによる審査の上、**11月5日（木）にマッチング会議（ベンチャー企業によるプレゼンテーション）及び懇親会**を行い、メンターを決定します。
- ・決定後、翌年4月末まで約半年間、個別にメンタリングを行います。



昨年のプレゼンテーションの様子

●申込先・問い合わせ先

福岡ベンチャークラブ事務局

担当：奥田、川島

TEL :092-725-2729

FAX : 092 - 725 - 2796

Email : ven@fvm-support.com http://www.fvm-support.com/venclub_top

● メンター紹介 ●



石橋 一海

エヌビーエス株式会社
代表取締役

【プロフィール】

1942年生まれ、福岡県八女郡広川町出身。県立八女工業高校電気科卒業後、小野田セメントに入社。1972年に石橋電業社を設立。1985年にはエヌビーエス株式会社の前身ニュー・ビジネス・サービス株式会社を設立、現在に至る。趣味はゴルフ、社交ダンス。福岡県中小企業家同友会、2009年度福岡地区副幹事長を務める。地域主権型道州制国民協議：参加。

【メッセージ】

日本経済は円安と金融緩和（低金利の中）で一部景気回復に向かっていますが、中小企業に於いてはまだまだ景気回復には程遠い感があります。中小企業で働く人々（全労働者の70%）の所得が増えないと本格的回復にはなりません。私の、45年にわたって経験した経営に対する考えをメンティーの方々の経営向上に役立てて頂ければ嬉しい限りです。業種を問わず、経営向上のため共に知恵を出し合いましょう。



井上 雄介

九州債権回収株式会社
代表取締役会長

【プロフィール】

・1973年4月 日本銀行入行。
・1985年4月 (株)福岡相互銀行（現(株)西日本シティ銀行）入行。
・1997年6月 同行代表取締役副頭取。
・2003年7月 九州カード(株)代表取締役会長。
・2005年6月 九州債権回収(株)代表取締役会長。
当クラブメンタープロジェクトに当初から参加、今回でメンター8期目となる。

【メッセージ】

アベノミクスの成長戦略、の掛け声のもと、このところ、全国的に第4次ベンチャーブームの様相を呈している。今を時めく大企業も、元々、すべてベンチャー企業であり、時代・経済構造の大転換期に誕生したものが多い。近年、ファンディング等、官民のサポート体制も含め、起業環境は大きく好転しつつあるやに見受けられる。街起こしは起業（事業）起こし。全国的にも例のない、九州メンタープロジェクトを通じて、これからの時代を担う企業が福岡／九州から一社でも多く誕生することを願う次第。



川邊 康晴

株式会社Kアライアンス・ジャパン
代表取締役会長

【プロフィール】

博多生まれ。80才。九大卒。1958年 西日本銀行入社以来2002年まで44年間勤務。その間、色んな業種の経営者の方々との出会いが数多くありました。相談を受けたり、ご指導を受けたりした「経営者の人脈ネット」を生かして、社会に役立てたらと思い、定年後の67才から「シニアベンチャー」にチャレンジしました。そして現在の組織を立ち上げ、早いもので13年経ちました。業務内容は、経営上のニーズ（販路の拡大、コスト削減、新規事業立ち上げ等）を受けると、それぞれの項目毎に提携している専門ソリューション企業を引き合わせ解決する役割です。一言でいえば、コンサル会社ではなく「ビジネスマッチング仲立ち会社」です。

【メッセージ】

今、激変の時代に企業を立ち上げ、存続していく上で必要な要素は数多くあります。敢えて3つに絞れば、「① 社会、お客様に役立つビジネスを提供し続ける「高い志」を持つ。」「② 日々、変化に挑戦する強い意欲。」「③ 志の高い人との出会いを常に心がける。」以上が企業の経営者に最も大切だと思います。日々意識し、コツコツ実行していけば必ず道は拓けていきます。



小嶋 寿見子

株式会社セルブ
取締役会長

【プロフィール】

北九州市出身、料亭に嫁ぐ。その後会社勤務を経て、1990年に起業し、これまでに3社の会社を興し美容業、不動産事業、外食産業などを展開している。それらの経験を活かし、2004年に女性の起業のトータルサポートをするNPO法人「Venus One」を設立。このほか、北九州市男女共同参画センター（ムーブ）の「女性起業家支援塾」の塾長、北九州市立大学ビジネススクール特任教授、西南女学院大学非常勤講師、(社)九州ニュービジネス協議会女性起業家塾専任講師などを務め、次世代の人材育成に関わっている。

【メッセージ】

私が事業を興したのは40歳の時、ゼロからの出発でした。会社の設立当時は何も解らずただ働くだけでしたが、数年経つと経営とは何か、経営理念とは何かと考え出すようになり、最悪だったのは財務諸表が読めない自分に気がついたことです。その時飛び込んだのが、今でも可愛がって頂いている大前研一先生の「アタッカーズビジネススクール」でした。この時に大前先生にお会いして感得できたこと、またそこで得た人脈などがその後の経営に非常に役立っています。今でも、私のまわりには、悩んだ時に相談に乗ってくださる方々がいいます。このような拙い私の経験が、少しでも皆さんの取組にお役に立てるのであればと思っています。



佐藤 宏文

新日本有限責任監査法人
シニアパートナー 公認会計士

【プロフィール】

長崎県長崎市出身。大学卒業後、東京の出版印刷会社に就職。その後、公認会計士となり、東京の外資系会計事務所を経て、昭和63年より、新日本監査法人の福岡事務所に入所。平成6年からは、台湾の会計事務所に出向し、日系企業に対しての台湾での会社設立、税務、会計等のアドバイスを行っていました。平成9年に福岡に戻り、その後は、会計監査を中心に、IPO準備、会計等アドバイザリー業務、内部統制構築支援業務等を行い、現在に至っております。

【メッセージ】

公認会計士の業界に入って28年がたちます。外資系会計事務所、海外での日系企業のサポート、大手企業の監査から小規模会社のコンサルティングまでいろいろなことをやってきました。その中で、いろいろな経営者ともお会いしました。その経験を、このメンタープロジェクトで活かすことができればと思いメンターを務めさせてもらっています。九州はとても素晴らしい地域だと思っています。その中でも、福岡県は、とても魅力的なところだと思います。その魅力をもっと高めていくためには、元気な企業がどんどん出てきて、福岡をそして九州を活性化させることだと思います。みなさん、一緒に頑張りましょう！



田中 浩二

メディア総研株式会社
代表取締役

【プロフィール】

福岡市出身・在住・同志社大卒後(株)毎日コミュニケーションズ(現マイナビ)在籍10年、前職と同じ新卒就職情報事業(リクルート業)及び各種メディア制作事業(印刷物・HPなど)を福岡市中央区大名の小さなマンションを拠点に前職の仲間2人と私も3人で創業、しかしながら最初の12年間は家業の清算に費やし世の中の様々なことを知る。また、全国の同業がリーマンショックの前後に次々に廃業し同業は首都圏の大手数社のみといったニッチな事業といえます。またここ数年は、新卒理系採用事業を全国に拡げたことで、業績は順調に推移しています。

【メッセージ】

実は私は、第1期メンタープロジェクトでメンティーでした。私のメンターは、既に東証1部上場の総合メディカル(株)の小山田会長(当時)で、約1年に渡り指導を受けました。当時の、メンタープロジェクトはメンティーのなかから上場企業を育てるということで、気持はあっても弊社、私で大丈夫とはいえる状況ではありませんでした。ただし、その縁あってか数年後より業績は順調に伸びはじめ現在に至っています。このような経験から、本プロジェクトにおける私の役割は、この23年間で得た少ない成功と多くの失敗事例を話すことでメンティーのお役に立てればと思います。



右田 喜章

株式会社ホークスタウン
取締役会長

【プロフィール】

1967年西日本相互銀行(現:西日本シティ銀行)入社。主に中小企業相手の営業が中心で、give, give and takeの考でアドバイス・支援・審査を行う。また、役員就任後は渉外担当として、財界・福岡県・福岡市を担当。その時からの人脈が私の財産。その後、カード会社、ラジオ局の経営を経て現在に至る。営業・人材育成・内容管理に3分の1ずつの力配分を原則として経営を行う。この間にうきは市・小郡市の地域おこしのボランティア活動に参加。現在も福岡県青少年県民会議の会長、自治体の行政改革委員長等のボランティアを行っている。

【メッセージ】

経営者は未来の変化を考え、危機感を持って技術開発や商品開拓更には顧客の新規開拓が必要です。もちろん、世のため、人のためという顧客目線が長寿企業の根底には必要です。また、努力と準備と笑顔が人と企業に“運”をもたらすと云われています。業績と景気のせいにせず経営を楽しみましょう。そのお手伝いが出来れば幸いです。



渡辺 徳雄

株式会社ロジカルプロダクト
顧問

【プロフィール】

1947年福岡県生まれ。1972年九州大学工学部電子工学科修士課程卒業後、電電公社(現NTT)入社。姫路西電報電話局長、NTT宮崎支店長、NTT-TTE代表取締役副社長を経て、1998年NTT-TTEサービス代表取締役社長。1998年福岡経済同友会IT部会長(初代 以後10年継続)常任幹事。2002年NTTネオメイト九州代表取締役社長、2006年宮崎情報処理センター(現MJC)常務取締役。

【メッセージ】

NTT入社以来、北海道から九州まで転勤を20回近く経験し、仕事の関係などで全国全県を回っています。海外へも、アメリカ、ヨーロッパを始め37回の渡航経験をしています。サラリーマンとして、平社員から係長、課長、部長、副社長、社長などとあらゆる役職も経験し、企業人としては幅広い経験をしてきました。従事した会社も、NTT関係が多いですが、9回変わっています。特に、代表取締役歴は通算10年です。仕事では、最初は情報通信のNWの設計・建設・保守の一連の仕事をやり、それから組織を統括する業務、経営に関する業務を携わってきました。最近では携帯電話の開発(スマートフォン)からクラウドコンピューティングの開発など最先端のIT開発に従事しています。今後のモバイル端末がどのように進化するかわかるような仕事をしています。

2015年 月 日

福岡ベンチャークラブ事務局 宛

FAX : 092-725-2796

E-mail : ven@fvm-support.com

※メールの場合は下記の事項を記載して送信してください。

第8期九州メンタープロジェクト申込書

福岡ベンチャークラブ会長 殿

下記のとおり第8期九州メンタープロジェクトに申込みます。

氏名			
会社名			
所在地			
電話番号		FAX 番号	
E-mail			
事業内容			
起業動機			
相談したい内容			
申込経路	1. 福岡ベンチャークラブ会員 2. 他機関からの推薦 ()		

【注意事項】

- ・事業計画書を添付してください(1年以内にフカハベンチャーマーケットに登壇した企業は不要)。
- ・メンターとのマッチング会議及び懇親会への参加が要件となります。

日時: 11月5日(木) 15:30~19:30

会場: 共創館3階カンファレンスC (福岡市中央区渡辺通 2-1-82)

- ・申込締切 10月2日(金)